



平成 27 年 6 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社 L I X I L グループ
代 表 者 名 代表執行役社長 藤森 義明
(コード番号 5938 東証・名証各一部)
問 合 せ 先 執行役副社長 IR 担当 筒井 高志
(電話 03-6268-8806)

海外子会社の破産手続開始申立に伴う損失の見込額及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社である Joyou AG (本社：ドイツ、フランクフルト証券取引所上場、以下、Joyou) の破産手続開始申立に伴う損失の見込額、及び平成 27 年 2 月 2 日に公表した平成 27 年 3 月期の業績予想の修正につきまして、下記の通りお知らせ致します。

1. 海外子会社の破産に伴う損失及び平成 26 年 3 月期の当社連結損益計算書の訂正の見込額

平成 27 年 5 月 22 日にお知らせ致しましたとおり、Joyou が、同年 5 月 21 日 (ドイツ時間) に、破産手続開始の申立を行うことを決定し、その後、同年 5 月 22 日 (ドイツ時間) に、ドイツ・ハンブルク地方裁判所に対して、破産手続開始を申し立てました。本件に伴う当社グループの損失の見込額及び当社の平成 26 年 3 月期の連結損益計算書の訂正の見込額は以下の通りであります。なお、Joyou 及びその子会社は、平成 27 年 4 月 1 日より当社連結子会社となっていました。同社の破産手続開始の申立に伴い、重要性がなくなったことから同社及びその子会社は当進期における連結範囲には含めない予定であります。

(1) 平成 27 年 3 月期までの損失の見込額

内容	計上時期	段階損益	計上額 (百万円)
① 当初株式取得時における Joyou 分の株式価値毀損 (※1)	26 年 3 月期	特別損失	23,804
② Joyou の利益に対する持分法投資利益取消 (※2)	27 年 3 月期	営業外費用	299
③ Joyou の実態調査等に係る費用等	27 年 3 月期	特別損失	1,200
④ 追加株式取得における Joyou 分の株式価値毀損 (※3)	27 年 3 月期	特別損失	7,869
計			33,172

(注) ①、②及び④については実績値です。

③及び④については本年 5 月 21 日及び 22 日の公表には含まれていなかった損失であります。

(※1) 本年 5 月 21 日及び 22 日に公表した通り、当社グループは、GROHE Group S.à r.l.を通じて Joyou 株式を間接的に所有しており、当社が連結財務諸表において平成 26 年 1 月の取得時に投資有価証券として認識した Joyou の株式価値約 238 億円全額につき損失が発生する見込であります。

(※2) 平成 27 年 3 月期の第 3 四半期 (当社における平成 26 年 4 月 - 12 月、Joyou における 2014 年 1 月 - 9 月) の Joyou 分の持分法による投資利益の概算額は約 9 億円と公表しておりましたが、当社の連結営業外損益に計上した同期における Joyou 分の持分法による投資利益の実績値は約 3 億円であり、その全額が取り消される見込であります。

(※3) 本年 4 月 1 日、当社グループは、GROHE Group S.à r.l. の発行済株式の 12.5%を追加取得しましたが、同社は Joyou 株式を間接的に所有しており、当社が連結財務諸表において投資有価証券として認識する Joyou の株式価値約 79 億円全額につき損失が発生する見込であります。

(2) 今期以降に発生する損失の見込額

当社グループは、Joyouの子会社の債務に関して債務保証（以下、本件保証）を行っており、本件保証につき、最大約160億円の損失が発生する可能性がある旨、本年5月21日及び22日に公表しました。当該公表後に、当社の負担分に関して関係者と協議した結果、最大約330億円の特別損失（税引後利益に与える影響は△220億円）を平成28年3月期に計上する可能性があります。

本件保証につきましては、当社と共にGROHE Group S.à r.l.への共同出資を行っている共同投資者の了承のもと、平成27年3月末時点の共同支配企業であるGraceA株式会社（本社：東京都江東区、以下、GraceA社）によるバックアップ保証（当社の保証債務履行に対するGraceA社による保証）を付していたことから、当社としましては、本件保証の総額約330億円のうち50%（GraceA社に対する当社グループの持分比率）の約160億円が当社の負担分との認識を持ちました。しかしながら、共同投資者等、関係者と協議を重ねた結果、最終的には、平成27年4月以降GraceA社が当社連結子会社となったこと、LIXILグループ全体の経済合理性（今後の資金調達力の確保等）を総合勘案のうえ、GraceA社の直接の親会社であり当社連結子会社である株式会社LIXILによるバックアップ保証に変更するに至りました。

(3) 平成26年3月期の当社連結損益計算書の訂正金額の見込額（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
訂正前	1,628,658	69,079	74,937	44,755
訂正後	1,628,658	69,079	74,937	20,952
訂正額	—	—	—	△23,804

2. 業績予想の修正

(1) 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	1,660,000 ～1,675,000	53,000 ～60,000	53,000 ～60,000	24,500 ～31,000	83.72 ～105.93
今回発表予想(B)	1,673,000	51,500	57,500	22,000	75.41
増減額(B-A)	13,000 ～△2,000	△1,500 ～△8,500	4,500 ～△2,500	△2,500 ～△9,000	△8.31 ～△30.52
増減率(%)	0.8% ～△0.1%	△2.8% ～△14.2%	8.5% ～△4.2%	△10.2% ～△29.3%	△9.9% ～△28.8%

(注) 当社は、当期において、ストック・オプションの行使による自己株式処分を行っております。「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式の処分を考慮した後の株式数（自己株式を除く）により算定しております。

(2) 修正の主な理由

売上高及び営業利益は平成27年5月7日公表の「事業概況」にて開示したとおりであります。

経常利益は円安による為替差益の計上、当期純利益は海外子会社の破産申立に伴う損失があったことなどが修正の主な理由であります。

(3) 今後の見通し

平成27年3月期末配当金予想30円に変更はありません。

また、平成27年3月期の決算発表日及び平成26年3月期の決算訂正日は平成27年6月8日を予定しております。なお、平成28年3月期の業績予想は決算発表時に公表いたします。当社の定時株主総会は、平成27年6月26日に開催する予定であります。

(注) 上記の予想は、現時点における入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上